

鴨川市地域公共交通会議 令和6年度第3回会議

会議録

日時：令和7年1月24日(金)午後1時30分から

場所：鴨川市水道局 1階 会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏 名	備 考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	渡邊 剛太郎	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	竹内 久泰	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	鶴谷 武志	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	篠田 千津子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	伊藤 昌央	
	鴨川市校長会 会長	関口 和則	

2 オブザーバー

所属・職	氏 名	備 考
千葉県総合企画部交通計画課 企画調整室	山崎 乙濃	
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 副課長	平野 照明	
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 担当次長	阪田 雄吾	

3 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

[配布資料]

- ・ 席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・ 資料 1 令和 6 年度「地域内フィーダー系統確保維持事業」の事業評価について
- ・ 資料 2 令和 7 年度「チョイソコかもがわ」の運行計画（案）について
- ・ 資料 3 鴨川市地域公共交通計画の一部改訂について（案）
- ・ 資料 4 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の変更について（案）
- ・ 参考資料 1 「地域の交通を考える長狭地域協議会」開催結果報告書
- ・ 参考資料 2 「チョイソコかもがわに関する地区別説明会」開催結果報告書
- ・ 参考資料 3 推計値・目標値の算出方法
- ・ 参考資料 4 公共交通関係実施状況
- ・ 参考資料 5 南房総・館山公共ライドシェア

■議事要旨

1 開会（午後 1 時30分） 司会 企画総務部企画政策課 滝口課長

- ・ 配布資料の確認
- ・ 会議の成立
- ・ 公開の報告

2 会長あいさつ

（要旨）

本日はご出席をいただき感謝を申し上げます。

本会議では、重要な地域公共交通施策に関する事項について協議を行っており、今年度の会議としては、本日が最後の会議となる予定。

本日の会議では、令和 6 年度フィーダー系統確保維持事業の事業評価や、チョイソコかもがわの本格運行に係る協議などの計 4 件をお願いしたい。皆様には、忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、本多信介 委員を指名

協議案件1 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について
(事務局から、資料1に即して説明)

高橋(直)委員：2点ほど確認する。1点目、④目標・効果の達成状況がC評価だが、どのような実績があればB評価になるか。

事務局：公共交通計画に基づき実施するものは計画どおりやっているが、大元の利用目標21,426人に対して今回の実績値は16,944と少ない数字となっている。目標値には物足りない数字となっているため今回はC評価とした。

高橋(直)委員：⑥再編後の運行内容について利用者への通知等は、前回の説明会をはじめパンフレットの作成・配布、モビリティマネジメントの実施、公共交通乗り方教室のほかに何か実施するか。

事務局：協議案件2でチョイソコかもがわが承認されれば、該当地域に対し、回覧で周知を図るとともにホームページや広報でお知らせする。公共交通全体の利用促進についても広報で周知を考えている。

資料のとおり承認

協議案件2 チョイソコかもがわ運行計画(案)について
(事務局から、資料2に即して説明。また、協議が整った場合には証明書を発行する旨を説明。)

羽田副会長：週3日から週4日に増やした計画で新年度については本格運行ということで、別の資料で予算額ベースの金額を書いてあり、金額がほぼ変わらずに運行日が増えているが実際に運行が可能なのか。

事務局：運行事業主である千葉トヨタ自動車、鴨川タクシーとともに相談をしながら資料のとおり運行していく事で準備を進めている。

羽田副会長：協議済みという事で了承した。実証運行の際も様々な苦労があったと聞いている。様々な要望がある中で全体的なサービス低下を心配しているがいかか。

平川会長：江見地域の通学部分を削ったりしながら全地域で週4日を実現している。千葉トヨタ自動車、鴨川タクシーのご協力があって成り立っている。

高橋(直)委員：運行評価指数について目標値に対して既の実績値が上回り、目標を達成している状況は理解した。これは公共交通計画に記載している数字なのか。

事務局：計画には載っていない独自の目標の数字となる。長狭地域が多いのは令和3年度から運行をしているため。

成田委員：財政負担も大分厳しい状況の一方で運行日も増加する。運賃が特に変更はないが、鴨川市地域公共交通計画を新しくするまで変えないのか、それとも財政負担も多くなっているの、利用状況に応じて運賃も若干負担を求めて財政的な措置の調整を図るのか。

事務局：運賃については、説明会等でも様々な意見があり、収支率等を分析しながら収支の状況に応じて変えていく可能性がある。現在の運賃は、同一の地域内は300円、鴨川地域までの移動は700円となっているが、従前600円であったものを引き上げた経緯がある。既存の路線バスの運賃との整合を考えて運賃を設定させていただいた。チョイソコのサービスは既存のバス路線よりも高く、一方で一般のタクシーよりは低いといった水準に収まるように調整をさせていただいたもの。今後、適時調整が加えられていくという風に考えている。

資料のとおり承認し協議が整っていることの証明書を発行

協議案件 3 鴨川市地域公共交通計画の一部改訂について
(事務局から、資料 3 に即して説明。)

資料のとおり承認

協議案件 4 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通
計画の変更について
(事務局から、資料 4 に即して説明)

資料のとおり承認

4 その他

三橋委員：チョイソコを利用できないところに住んでいる。2 年前に免許を返納し、バスとタクシーを利用している。割引もあり不自由はない。生協の宅配サービスも利用している。ただ、先日、ノンステップバスでない路線バスでつまずいて怪我をしてしまった。自分の年齢より上の方はもっと大変で、本当はチョイソコを利用したい方も多いと思う。そのような中、前回のチョイソコかもがわの利用者のアンケート結果を拝見して不満が多いことに驚いた。チョイソコを利用できない地域の方のことも思っしてほしい。

もう一つ、駅前にタクシーが数台停まっている状況があり、現在、運転免許返納者への 1 割引を行っているが、呼び出しではなく、お客を待っているタクシーは、高齢者等への割引率を上げることはできないか。

本多委員：タクシーの運賃で 1 割引きまではある程度できるが、2 割引き 3 割引きとなると国交省等々の許可が非常に複雑になってきている。また、当社だけの問題ではなくなってしまうが、貴重なご意見をいただき、我々もどこまで市民サービス提供できるかは持ち帰って検討させていただく。

高橋(晴)委員：バス車両の件について、大変ご迷惑とご不便をおかけした。コロナ禍で運送収入の大幅な減少により、当社も事業面が大変厳しい状況で車両更新というのがなかなかできていなかった。今年度は高速バス、路線バス含め、過去にない 20 両の車両を更新した。来年度も車両の更新を計画中。それ以上にサービスの改善には努めたいと思っているのでご理解いただきたい。

平川会長：すべての皆様にご満足をいただけてないというのは、我々も承知をしている。そうした中、厳しい財政状況の中で何ができるのかご提案をさせていただいている。いただいたご意見も参考にしながら今後また進めていければと思うのでよろしく願いいたしたい。

事務局：2 点報告する。1 点目は、公共交通乗り方教室の電車版が石井安房鴨川駅長をはじめ、JR の皆様の協力により開催された。今回が初開催とな大変有意義な内容となった。2 月には、日東交通、鴨川タクシーの協力のもとバス・タクシーの乗り方教室を開催予定。また、チョイソコかもがわ、JR えきねっとのスマートフォン予約の説明会を千葉トヨタ自動車、JR の協力をいただきながら開催した。各団体の協力に感謝をする。

2 点目は、南房総館山地域公共ライドシェアについて、南房総館山地域公共交通活性化協議会が実施主体となり 3 月上旬の実証運行を目指すということで鴨川にも情報共有があったのでこの場を借りて報告する。

篠田委員：免許を自主返納して、病院の帰りなど路線バスの時間が合わない時は困ることがある。タクシーも自分が住んでいる場所までの料金は高く、チョイソコも16時となっている。運転手不足がニュースにもなっている中、鴨川市のライドシェアについては計画はあるか。

事務局：今回のライドシェアの概要を見ると、あくまでも夜間運行で、金額もタクシー相当ということで基本的にはタクシー事業の一部を補完するための内容となっている。鴨川市の場合、鴨川タクシー等で夜間の人手不足が生じているというような場合、事業が成立する余地もあるかと思う。また、チョイソコかもがわのような一般タクシーよりも低い運賃で運行しようとするのと別途運転手、車両そして自治体の赤字補填といったものが必要になり、同列に論じることが難しい。

本多委員：館山はコロナや業務管理、運転手不足等で現在9時以降はもうタクシーがない状態。市民や飲み屋の方たちが非常に困っているという状況から今回のライドシェアという発想が立ち上がったと理解している。また、勝浦も同じような状況と聞いている。鴨川の場合、鴨川タクシーときょうほタクシーの営業所もあり、深夜まで運行していて我々も必死になって営業をしている。現在の利便性はタクシーと変わらないと思うが、今後、このような取り組みが広がる場合には鴨川も一緒に検討する。

石井委員：この度1月16日、21日に鴨川小学校の6年生、西条小学校の4年生5年生をお迎えして乗り方教室を行った。昨年の地域公共交通会議の中でいただいたお話がやっと1年かけて実ったかなというところ。電車なのですぐにできないが、調整をさせていただき形になったというところのご報告をさせていただく。地元の小学生の笑顔を見させていただいた中で、やはりこの子どもたちの頭の片隅に、小学校の時に駅に行って電車に乗った事やこの後予定しているバスやタクシーの乗り方教室をやった事がいい思い出に残ればいいと思っている。次回は来年度以降になると思うがご協力させていただければなと思っている。

事務局：まだ参加できてない学校もあるので願わくば来年度以降もぜひお願いしたい。

事務局：本日が本年度最後の会議となる。来年度の会議についてはまた日程を改めて調整させていただく。委員の皆様には引き続きよろしくお願いします。

5 閉会（午後3時00分）

以上

令和7年2月28日

会議録署名人 本多信介